

## 礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 御言葉   | エレミヤ書31:16-22              |
| 賛美    | セレブレイト ジーザス (ppt 10)       |
| 使徒信条  | 会衆一同                       |
| 交読文   | 13                         |
| 賛美    | 御言葉に歩めるように (ppt 7)         |
| メッセージ | 略奪と偽りの日々、その報い(1サムエル27、30章) |
| 祈り    |                            |
| 賛美    | イエスは勝利をとられた (ppt 11)       |
| 主の祈り  | 会衆一同                       |
| 祝福の祈り | パスター                       |
| 報告    |                            |

## 祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽
- ・主に忠実な聖徒達が 30 名以上与えられるように

## 祝福の御言葉 下線を自分にあてはめて祈りましょう

私が主を求めると、主は答えてくださった。私をすべての恐怖から救い出してください。彼らが主を仰ぎ見ると、彼らは輝いた。「彼らの顔ははずかしめないでください。」この悩む者が呼ばわったとき、主は聞かれた。こうして、彼らはすべての苦しみから救われた。主の使いは主を恐れる者の回りに陣を張り、彼らを助け出される。主のすばらしさを味わい、これを見つめよ。幸いなことよ。彼に身を避ける者は。主を恐れよ。その聖徒たちよ。彼を恐れる者には乏しいことはないからだ。若い獅子も乏しくなって飢える。しかし、主を尋ね求める者は、良いものに何一つ欠けることはない。(詩篇 34)

むしろ私たちに全ての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置くように。また人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。(1テモテ 6:17)

どうか私達の主イエスキリストの神すなわち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊をあなたがたに与えて下さいますように。またあなたがたの思いの目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのように栄光に富んだものか、また神の全能の力の働きによって私達信じる者に働く神のすぐれた力が、どのように偉大なものであるかをあなたがたが知る事ができますように。(エペソ1-17)

## メッセージ概要

サウルを恐れたダビデはペリシテ人の地へ行き、ガテの王アキシュの下に身を寄せた。(27章)ダビデはかつてこの王を恐れ、気違いを装って逃れた事があった(21章)。アキシュの前で気違いを装った後、彼は主を呼んで悔い改めた。神は全ての恐怖から救い出し、主を恐れる者の周りに主の使いは陣を張る事を学んだのである(詩篇34)。その後モアブの王の下に行った時、「神が私にどんなことをされるかわかるまで、どうか、私の父と母を出て来させて、あなたがたといっしょにおらせてください。」(22:3)と、堂々と信仰告白し、その結果、ダビデの両親も養われ、祭司エブヤタルを得、敵サウルは恐れに包まれて益々過ちへと落ちて行った。(22章)

再びアキシュの元を訪れた時、どういうわけかダビデは恐れに支配された。この異邦人の王の元で生きて行くために、表向きはイスラエルに齒向かっているかのように振舞わねばならず、ユダの町々を襲ったかのように見せ、実は別の所を襲うという、略奪と虐殺と嘘をつく日々を送る。異邦の王に取り入り、異邦の地に適応する生活は、奪い合い、殺し合い、偽り合いの生活である。いよいよペリシテがイスラエルと一戦を交える段になった時、ダビデは一緒に行って戦う、と表明した。かつてサウルに自ら手を下すことをあくまで拒否したダビデは、その時、どのような心境だったであろうか。そのまま行けば、彼は神の民を刃にかけられる事になってしまうが、そこでも神は憐れみをかけてくださり、ペリシテの首長達を用いて、ダビデがイスラエルと戦う事が無いよう、取り計らってくださった。異邦の王に取り入ろうとするあまり、間違いを犯しそうな時も、主は憐れみ、決してしてはならない事からは守ってくださる。しかしそのような生活には歪みが生じ、自分の行った実は必ず刈り取る事になる。

自分の家に戻ると、アマレク人の略奪隊によって持ち物や妻子は奪われ、町は火で焼き払われていた。このわずか3日の空白の間に、狙い済ましたかのように、今まで略奪してきた物を略奪されてしまったのだ。ダビデも彼を頼ってきた部下達も泣く力が失せるまでに泣き、落胆し、民の不平不満はピークに達した。もしあの時、ダビデがイスラエルと戦うために出て行かなかったなら、防げたはずであった。自分の誤った判断のために災いに陥り、絶望のどん底に落ちた時、私たちはどうすべきか。

ダビデは絶望のどん底の中、主によって奮い立ち(30:6)その事が彼にとって、祝福と呪いの転換であった。ダビデは主に伺って言った。「あの略奪隊を追うべきでしょうか。追いつけるでしょうか。」するとお答えになった。「追え。必ず追いつくことができる。必ず救い出すことができる。」(30:8)御声に従って追っていくと、狙い済ましたかのように、見捨てられた奴隷に出会い、襲うには最もベストなタイミングに略奪隊の所へ到着し、多くの分捕り物を手に入れ、失ったよりも多くを得た。主によって奮い立ち、ただ主に頼る時、かつて失った人、物、時間さえ取り戻す事が出来、しかも、失ったよりも多くを得るのである。主は、私たちの間違った行動さえ用いて、全てを最善へと導く事ができるのである。

ダビデは分捕り物について、一緒に行かなかった者達へは分けてやらないという意地の悪いよこしまな部下達に対して、「兄弟たちよ。主が私たちに賜った物を、そのようにしてはならない。主が私たちを守り、私たちを襲った略奪隊を私たちの手に渡されたのだ。」と言い、この結果は主が為して下さったものとし、分捕り物は皆で同じように分け合わなくてはならないとした。偉大な手柄を無し、多くを手に入れた時、祝福された時こそ気をつけるべきである。祝福を得た時、それを独り占めすればそのままであるが、祝福が主から来たものとして、主にある兄弟姉妹に分け与える者こそ、さらに与えられ、富んで行くのだ。ダビデはその分捕り物をユダの長老達にもいくらか送ったからこそ、後にユダの民から王とされたのである。

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

# 天声教会

## 1部礼拝 週報

### 集会案内

#### 日曜礼拝

- 1部(日本語) 10:00
- 2部(韓国語) 11:00
- 食事/フェローシップ 12:00~
- 3部(韓国語 日本語通訳あり) 14:00

#### 月~金 集会

- 早天祈祷会 5:00~
- 祈祷会(金曜除く) 20:00~

#### 水曜集会

- 1部(韓国語) 13:00~
- 2部(日本語) 19:30~

#### 金曜徹夜祈祷会 21:00~

### アクセス

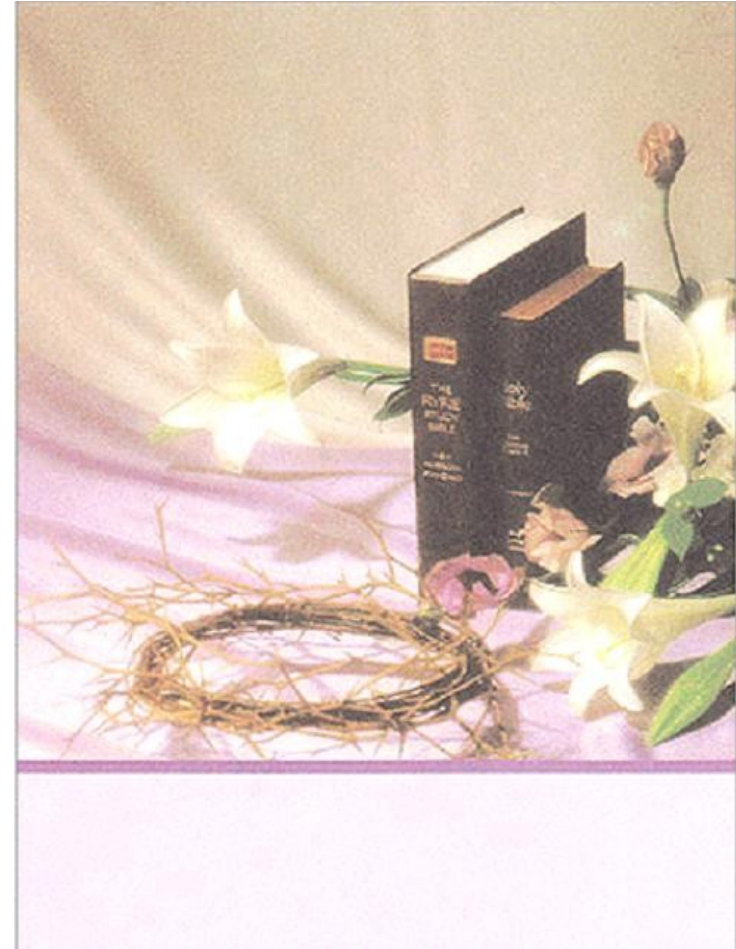


横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅6番出口より  
徒歩5分

JR・関内駅より徒歩10分

京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿いの、伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、1Fがファミリーマートになっております。



〒231-0058

パスター：林和也

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

email: ephes\_03-r@yahoo.co.jp